

平成25年度 五泉市生活科部 活動報告

部長 酒井 文子

1 研究主題

- ・ 子どもの思いや願いを生かすための教材研究をする。
- ・ 授業研究を通して、指導力の向上を図る。

2 研究の概要

- (1) 教材研修 「簡単お豆腐だんご」 6月
- (2) 実技研修 「草花あそび」 9月
- (3) 授業研究 単元名「わたしの町だいすき2」 10月

3 研究の実際

(1) 教材研修

昨年度に引き続き、瀬倉みゆき先生（五泉市達人バンク）を講師に迎え、低学年の子どもでも作れる「簡単お豆腐だんご」料理を教えていただいた。材料も少なく短時間で調理ができた。部員にも好評で、子どもたちと一緒にぜひ作ってみたいという声が多かった。

(2) 実技研修

講師に五泉市理科センターの菊池直和先生を迎え草花遊びを体験させていただいた。学校の周りを歩きクズやススキなど草花を見つけた。草花を持ち帰り、クズやススキでいろいろなものを作ったり遊んだりして楽しく研修することができた。「見る、聞く、触れる、探す、遊ぶ」など自然と直接触れ合い、作る活動を通して自然とかわりあう楽しさを体感することができた。これからの生活科の学習に生かしていきたい。

(3) 授業研究

三星雄大教諭（五泉小学校）による、公開授業研究を行った。自分たちの住んでいる地域の探検を中心に設定した単元で、校区内にある施設の図書館、市役所、郵便局、警察署を取り上げていた。本単元では、調べてきたことを絵や文にまとめて友達に伝えることを目標としている。授業者は、探検して気付いたことを伝え合う方法として「じょうほうやさん」というお店屋さん形式での構想で授業を行っていた。「じょうほうやさん」を開くためにグループごとにみんなに知らせたい内容を決めて意欲的に情報交換をしていた。

協議会では、「じょうほうやさん」というお店屋さん形式の新しい試みで新鮮である。とても良いという意見が出された。充実した協議会であった。

4 成果と課題

生活科部では、体験学習が大切であるとの考え方から、年3回の研修・研究活動のうち2回を教材研修と実技研修に当てた。実際の授業の中で生かされる技術をたくさん学ばせていただき大変実りのある研修となった。

今年度の研修・研究を今後の実践に生かし、指導力の向上を図りたい。